

桜川産石材アピール

あすまで
大和の石まつり きょう炬火採火式



桜川市特産の石材加工品をPRする「大和の石まつり」が7日、同市羽田の市

役所大和庁舎で始まった。地元の石材業者など27団体が出店し、日本一の石の産

地をアピール。灯笼や墓石、小物まで、幅広い石製品が一堂に並ぶほか、石材を楽しむ体験イベントも行われる。9日まで。まつりは、市商工会石材部会が主

.....

大小さまざまな石製品を展示販売している「大和の石まつり」＝桜川市羽田の市役所大和庁舎前駐車場

催。今回で29回目を迎えた。良質の御影石が産出される同市、特に真壁地区は愛知県の岡崎、香川県の庵治とともに石材三大産地として全国的に知られている。

会場には、県産石材を中心とした多様な石製品がそろつ。灯笼やテーブルセツト、ポストのほか、大型石窯なども販売している。置物や一輪挿しといった家庭で楽しめる小物もある。

今年、真壁産の青御影石で作った重さ約20キロのボールを体験する石サッカーを企画。実際に蹴ることができる。石材の3Dモザイクアート体験、来場者の投票で決める石作品コンテストなども充実している。手打ちそばをはじめとした飲食ブースも並ぶ。

まつりに合わせて会場では8日、茨城国体で使う炬

火の採火式を開催する。火打ち石やマイギリを使って火をおこし、桜川市の炬火に使う火を採る。

飯島正彦部会長は「地元の石材を知り、触れる機会になれば。これも石、と驚く製品もある。百聞は一見にしかず。ぜひ会場に足を運んでいただきたい」と力を込めた。
(平野有紀)

※ 当社ブースの写真が掲載されました。

2019年（令和元年）6月8日（土曜日）

茨城新聞

掲載記事